

農事組合法人 古座川ゆず平井の里 ～地域の仕事・暮らしの体験による地域活性化～

○地域の概要

古座川町は、紀伊半島南端内陸部に位置し、町の中央を清流古座川が流れ、町の面積294.23km²のうち、約96%が森林である、緑豊かな農山村である。年平均気温は15℃程度と比較的温暖多雨であり、農業にとっては恵まれた自然条件を有している。特産品としては、町の推奨三品目である柚子・しきみ・千両や、にんにく等があるが、平井地区においては、特に柚子の栽培が盛んである。



○取組の概要

柚子を中心とした生産・加工・販売の一元化や都市との交流事業などを通じた農業経営の安定化から地域全体の活性化につなげようという目標をかかげ、平井地区において「古座川ゆず平井の里」を設立。交流施設「ゆずの学校」において、柚子加工体験等を通じた都市住民との交流活動を実施しており、柚子収穫ボランティアや研修・視察の受け入れも行っている。また、若者の地元定着を促進するため、近隣の小中学校の職業体験の受け入れを行っている。

○取組の経緯

年月	内容
昭和51年	柚子栽培の技術向上と販売の共同化をめざし「古座川柚子生産組合」を結成
昭和58年	平井柚子搾汁工場を建設
昭和60年	有志20名で、加工グループ「古座川ゆず平井婦人部」を結成する
平成16年	「農事組合法人古座川ゆず平井の里」を設立する
平成22年	体験交流施設「ゆずの学校」を旧小学校図書館に開設
平成25年	和歌山大学による収穫ボランティアの受け入れ
平成29年	和歌山県立串本古座高校地域包括的支援活動開始 柚子を使った商品づくりなど
令和5年	田舎・自然体験泊事業開始

○受入に関する成果

個人・団体・企業・教育機関・自治体等から、体験や研修などのため、年間約400名の方々が訪れている。令和4年から実施している収穫体験イベントでは、収穫期の受け入れ80名を達成している。古座川ゆず平井の里のファンを増やすことに繋がっており、ひいては地域全体の活性化にも寄与している。



【農事組合法人 古座川ゆず平井の里】
(和歌山県東牟婁郡古座川町)



※記載内容は令和5年8月31日現在の情報です

このページに関するお問い合わせは

和歌山県農林水産部農業生産局果樹園芸課 〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL:073-441-2900 FAX:073-441-2909 メール:e0703001@pref.wakayama.lg.jp